

**平成28年度 土木部
12月補正要求概要**

**平成28年11月21日
福島県土木部**

補正予算の概要

- 1 国の補正予算に伴う補正を行います。
- 2 その他、東日本大震災からの復興・再生に必要な事業等に係る補正を行います。
- 3 発注の平準化のため初年度支出ゼロの債務負担行為の設定を行います。

補正予算の規模

一般会計合計 134億3,547万円

- 国の補正予算に伴う関連経費
110億2,150万円
うち、国直轄事業に伴う県負担
33億0,050万円
- その他
24億1,397万円
- 初年度支出ゼロの債務負担行為設定
(限度額 14億5,530万円)

主な事業内容

国の補正予算に伴う関連経費

- ・道路の防災強化、長寿命化対策を推進します。 P.1
- ・関東・東北豪雨で被災した桧沢川の河川災害復旧助成事業を推進します。 P.2

その他

- ・道路等側溝堆積物の撤去・処理を進め、生活環境の改善を図ります。 P.3
- ・初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。 P.4

道路の防災強化、長寿命化対策を推進します。

事業の概要

- 橋梁や道路構造物の修繕や再生を行い、道路の長寿命化を図ります。
- 道路の無電柱化や落石対策を推進し、道路の防災機能の向上を図ります。

◇交付金事業(道路)

だいいちけんかつらばし
国道289号 第一剣桂橋工区 完了

【補正の内容】
 ・排水装置(腐食原因)を改良します。
 ・トラス部材の塗替等を行います。



損傷状態:トラス部材の腐食

喜多方会津坂下線 三丁目工区 [ふれあい通り] 完了

【補正の内容】
 ・電線類の地中化と無散水消雪工を行います。

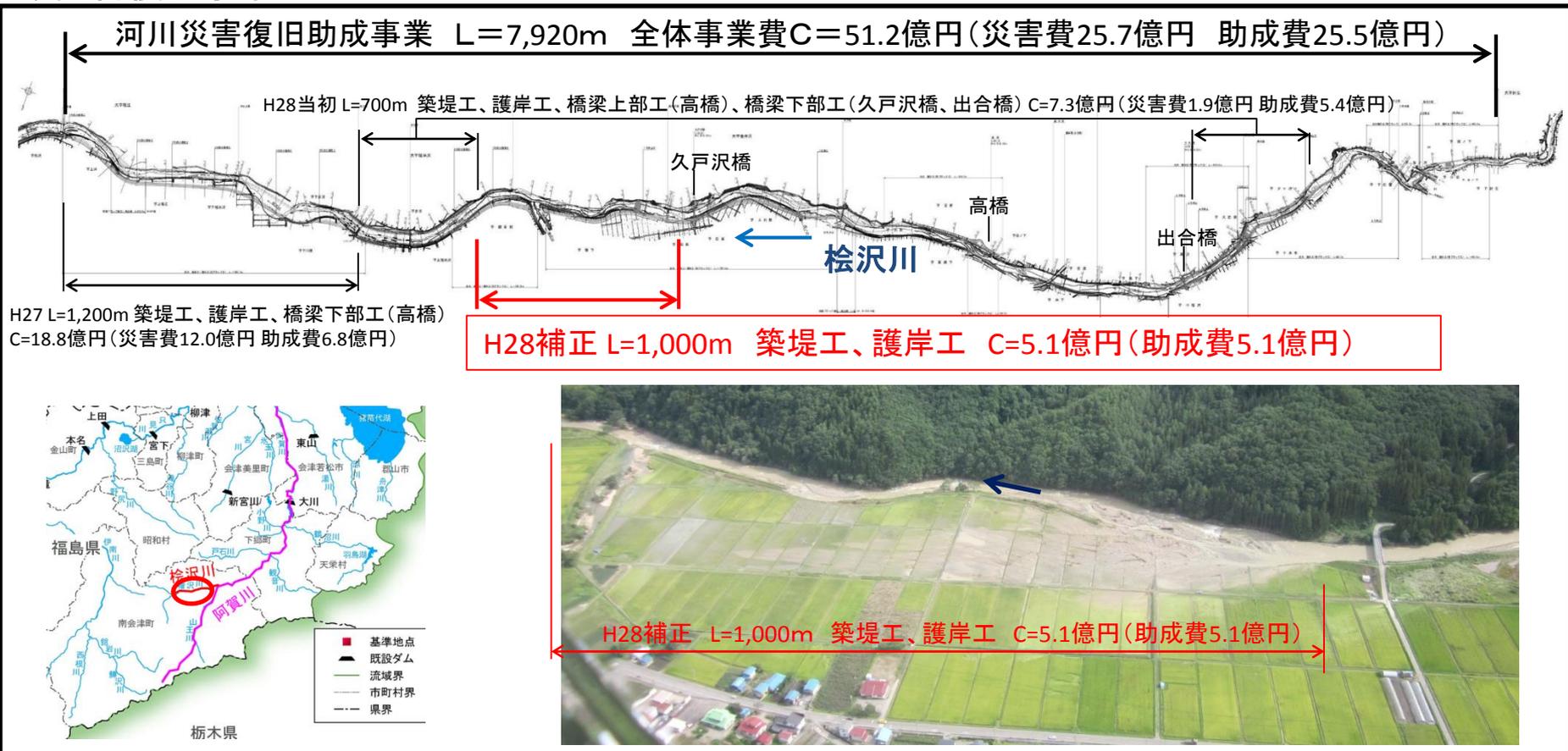


関東・東北豪雨で被災した桧沢川の河川災害復旧助成事業を推進します。

事業の概要

○平成27年9月関東・東北豪雨により被災した桧沢川で実施中の河川災害復旧助成事業の推進により、再度災害の防止と治水安全度の向上を図ります。

◇災害復旧事業



道路等側溝堆積物の撤去・処理を進め、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

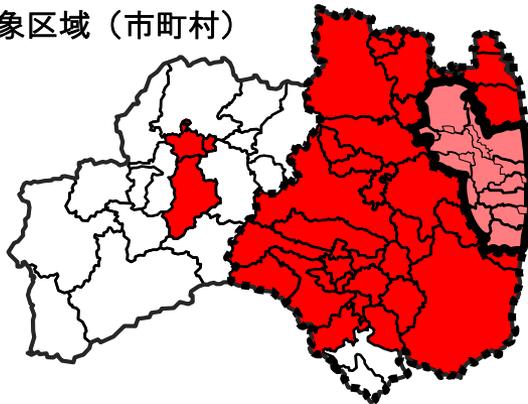
- 除染実施区域内のうち、空間線量率が低く（ $0.23\mu\text{SV/h}$ 未満）、除染を実施していない地区の道路等側溝堆積物の撤去・処理を行います。

◇ 道路環境整備事業（再生・復興）

【全体計画（対象路線延長及び期間）】

- ・ 路線延長：約1,100km（128路線）
- ・ 事業期間：平成28年度～平成32年度

対象区域（市町村）



除染実施計画策定市町村

- ・ 除染特別区域（11市町村）
→ 国が実施

- ・ 除染実施計画策定（36市町村）
→ 県及び市町村が実施



【補正の内容】

小名浜四倉線などいわき市内の県道について、いわき市と連携し、側溝堆積物の撤去・処理を進めます。



【今後の対応】

他の地区・路線についても、早期処理・撤去できるよう、関係市町村と協議調整を進めてまいります。

初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。

事業の概要

○初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。

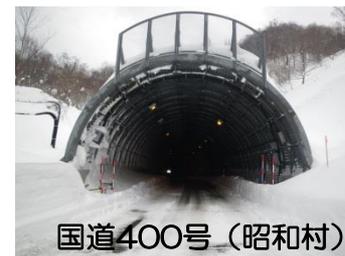
- | | | | | |
|--------|-----|--------|-----------|--------|
| ①県単事業 | 限度額 | 10.1億円 | (昨年度設定限度額 | 5.6億円) |
| ②交付金事業 | 限度額 | 4.5億円 | (昨年度設定限度額 | 一億円) |

対象とする事業

次年度事業の契約を前年度1～3月に前倒しすることにより、年度初めの工事量確保と施工の平準化を図るため、以下に該当する工事等について、初年度支出ゼロの債務負担行為を設定するものです。なお、国の交付金事業（社会資本整備総合交付金等）については、今回が初めての設定となります。

○積雪により施工期間が限られる豪雪地域において、降雪期前に工事を完了とするために適正工期を確保する必要があるもの。

- ・国道400号（昭和村）：スノーシェルター工 等



○出水期を迎える前に河道掘削工を実施し、河川断面を広げ洪水被害の防止を図る必要があるもの。

- ・南川（田村市）：河道掘削工 等



○その他、施工条件等から、早期に着手する必要があるもの。